

「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」に伴う 申20号 出向社員の働きがい向上を求める申し入れ 1回目

第1項 「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」の実施に伴う、成果と課題を明確にすること！

【主な会社回答】

- この施策の目的であるエルダーの雇用の場が拡大できたということが成果。
- グループ全体として技術の維持向上や、若年出向の解消に向けプロパー社員の採用・教育をグループ会社と連携し行なっていくことが課題。

出向期間は「原則3年以内」を再確認!!

第2項 「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」による委託業務拡大に伴い、労働環境・労働条件の改善効果と今後の見通しをグループ会社毎に明らかにすること！

【主な会社回答】

- トイレやエアコンなど設備改善をおこなったことは聞いている。
- グループ会社の労働条件向上は施策の目的であるが、グループ会社の経営の問題であるため口出しできない。各グループ会社の自主性に任せている。
- 労使目指す方向は一緒だが、今後の見通しについて具体的に示すものはない。

【組合】

契約単価を上げてでも労働条件を向上させることが、施策を実施した会社の責任である。明確なビジョンを示すべきだ！

【社】

将来を見据え会社として検討する

確認!!

第3項 今施策の趣旨に基づき、10年後の若年出向者解消に向けた考え方を明らかにすると共に、プロパー社員の育成計画および育成状況を示すこと。

【主な会社回答】

- 10年後に若年出向を解消する考えは変わらない。
- 今年度、JRへの逆出向を行いプロパー社員の技術力を向上させていく。
- プロパー社員の採用はエルダー社員の配置数を見極めて採用を継続する。

10年後の若年出向を解消するためには
プロパーの採用、育成計画を明確にすべきだ！

計画を示すことを確認!!
次回、継続議論!!

確認事項を遵守し、働きがいを実感できる職場と
労働条件の向上に向けて、たたかいをつくりだそう!!